

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2017年 6月26日(16:30~17:00)
2017年 8月20日(14:00~14:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 種市副主任、前田郁、丸谷、米澤、小堀、木田、稲葉
管理者、笹副主任、佐藤、前田、西谷、工藤、櫻庭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	2人	人	13人
		2人	10人	1人	人	13人

前回の改善計画

- a. サービス利用時に意識的に会話を持ち、本人の不安や悩みの解消、ニーズの把握に努める。
- b. 利用時の様子を家族へ報告すると共に自宅での過ごし方についても確認し、生活上の変化や想いを共有できるように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用時に意識的に会話を持ち、本人の不安や悩み、ニーズの把握に努める姿勢が見受けられていた。
本人の行動や体調に変化がみられた際には、送迎時や連絡帳、電話連絡等でお互いに連絡を取り合い情報や想いを共有することができていたと思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10			13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	2		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	7	2		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	4		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前にアセスメントシートや申し送り等で情報を共有することができている。利用時には本人へ負担にならない程度で多く関わりをもち、新たに得た情報は記録し職員間で共有している。家族の介護に対する不安等の相談にも耳を傾け、在宅での生活を継続できるようにサービスの調整等を検討することで概ね支援できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の状況、状態に合わせた支援ができていない。
介護者の不安な気持ちに対し、具体的な解決案の提示までは至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
本人や家族、介護者に不安な気持ちが聞かれた際は、都度ミーティングや申し送りにて話題を取り上げ、具体的な解決案について話し合い問題解決に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2017年 6月26日(16:30~17:00)
2017年 8月20日(14:00~14:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 種市副主任、前田郁、丸谷、米澤、小堀、木田、稲葉
管理者、笹副主任、佐藤、前田、西谷、工藤、櫻庭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	3人	1人	13人

前回の改善計画	本人の目標(ゴール)とプランの内容を全職員が把握し、その実現のための取組みについて定期的に話し合い、様々な発想を集約することでより良い支援ができるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	プランについては書面での回覧の他に、経過表の板に挟むことでいつでもすぐに確認できる環境を整備したものの、業務優先になりがちで、日々の関わりや振り返り、次の対応についての話し合いの機会が十分に確保できなかったため、今後検討が必要であると思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	9	2		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	8	2		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		10	3		13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7	5	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること プランを介護経過表の板に挟み、すぐに確認できる環境を整備したことで、本人の目標を把握することが概ねできている。 目標を念頭に置いた意識的な関わりも増えてきており、変化があった際には介護経過表に記入することで、職員間で情報共有できている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること カンファレンス以外に振り返り、話し合う場を改めて設定し取り組むことができていたかという点不十分であったと思う。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人の目標を全職員が把握し、自己実現に向けた支援を行うために定期的な話し合いを行い、様々な意見や発想を集約することでより良い支援ができるように努める(話し合いに参加できない職員からは、事前に意見を収集する)。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2017年 6月26日(16:30~17:00)
2017年 8月20日(14:00~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 種市副主任、前田郁、丸谷、米澤、小堀、木田、稲葉
管理者、笹副主任、佐藤、前田、西谷、工藤、櫻庭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4	7	1人	13人

前回の改善計画	「もっと利用者の方を知ろう」の様式を活用し、本人の以前の暮らし方や自宅での生活を把握して、リアルなニーズへの即時的な支援ができるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	「もっと利用者の方を知ろう」の様式が活用されている人とそうでない人、知り得た情報が様式に記載されず、経過表に記載されたりと情報を上手く集約できていない状況がみられた。 即時対応が必要なニーズに関しては、当日の申し送り等で話し合いができており、概ね対応ができていると思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	7	3	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7		1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		8	4	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	1	1	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	7	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の変化に気付いた際には介護経過表へ記入し、経過表の確認と申し送りで他職員と情報を共有することができている。また、即時対応が必要な場合には、当日の申し送り等で話し合いを行っている。本人の状況、状態に合わせた対応や介護は概ねできていると思われる。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「もっと利用者の方を知ろう」を活用してはいるものの、情報の収集状況にバラつきがみられており、生活歴等の情報収集が十分でないケースもある。担当が主となり意識的に情報収集を行う必要がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 「もっと利用者の方を知ろう」の様式を活用し、利用者や家族と意図的に関わりをもつことで、生活歴等の把握に努め、その人らしい生活が送れるような支援に努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2017年 6月26日(16:30~17:00)
2017年 8月20日(14:00~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 種市副主任、前田郁、丸谷、米澤、小堀、木田、稲葉
管理者、笹副主任、佐藤、前田、西谷、工藤、櫻庭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	9人	人	13人

前回の改善計画
「もっと利用者の方を知ろう」の様式を活用し、本人の以前の暮らし方や自宅での生活、地域における役割や関わりを把握し、リアルなニーズの即時的な支援ができるように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
「もっと利用者の方を知ろう」の様式を活用してはいるが、自宅での生活や、地域における役割や関わりを十分に把握することができなかつたり、支援できないことの方が多かったと思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	8		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6	5		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	7		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	8	3	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
アセスメントシートで本人の生活歴等を多少なりには把握することができる。送迎時等の家族との会話や連絡帳のやり取りで、自宅での様子を多少なりには伺い知ることができる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域にある社会資源と利用者とのつながりまで把握ができていない。生活歴や事業所が関わっていない時間の情報収集にも利用者によりばらつきが見られる。担当が主となり意識的に情報収集を行う必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
「もっと利用者の方を知ろう」の様式も活用し、地域の社会資源や利用者の生活歴等の把握に努め、利用者が地域における役割や関わりを見出せるように支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2017年 6月26日(16:30~17:00)
2017年 8月20日(14:00~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 種市副主任、前田郁、丸谷、米澤、小堀、木田、稲葉
管理者、笹副主任、佐藤、前田、西谷、工藤、櫻庭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	5人	3人	13人

前回の改善計画	地域にある社会資源を知り、事業所以外の資源を活用しながら生活できるための支援を行うように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の社会資源を全て把握はしていないが、医療機関や制度など最低限の社会資源は活用し、生活の支援を行うことはできていると思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		6	5	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	5	1		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	7	2	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	7	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の状態や家族の事情を考慮し、突発的な状況でも柔軟な対応ができている。日々の関わりや変化があった際には記録に残すことで職員間で共有することができている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 必要な利用者のみ、地域の社会資源の活用がなされている。地域の社会資源を把握、活用して利用者の暮らしを支える提案までには至っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域の社会資源の把握に努め、その情報を職員間で共有し、地域の社会資源を活用しながら利用者の暮らしを支援するように努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2017年 6月26日(16:30~17:00)
2017年 8月20日(14:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 種市副主任、前田郁、丸谷、米澤、小堀、木田、稲葉
管理者、笹副主任、佐藤、前田、西谷、工藤、櫻庭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	4人	3人	13人

前回の改善計画	可能な限り地域の会議や活動・イベントに参加し、事業所の理解を深め地域との交流、関係性を強化できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の祭りやイベント、小学校や保育園との交流、また、地域の医療機関や居宅介護支援事業所等への営業活動を行ったが、参加については偏りがみられ関係性の強化までには至っていないように思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	1	2	8	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		4	1	8	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	4	3	4	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	8	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の運動会やソフトボール大会、黒石よされ等、催し物に参加する機会は増えている。また、地域の小学校の児童との交流も継続的に行われている。消防訓練には、地域の防災協力委員にも参加していただいている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議や行事への参加が特定の職員に限られており、全職員が積極的に参加できていない状況にある。来訪者も家族や近所の方など、特定の方に限られている。気軽に立ち寄ってもらえるような取組みの必要性を感じている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の活動やイベント、会議がいつどこで行われているかの把握に努め、積極的に参加することで事業所の理解を深め、地域との交流、関係性を強化できるように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2017年 6月26日(16:30~17:00)
2017年 8月20日(14:00~14:30)

7. 運営

メンバー 種市副主任、前田郁、丸谷、米澤、小堀、木田、稲葉
管理者、笹副主任、佐藤、前田、西谷、工藤、櫻庭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか? a	人	7人	5人	1人	13人

前回の改善計画
職員が事業所のあり方等について積極的に意見が言える体制を整備し、地域の中で必要とされる存在になれるように努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
各種会議やミーティングの場など意見を提案できる環境はあるが、体制の整備までには至っていない。
地域の中で必要とされる存在になるため、引き続き職員、利用者、家族、地域住民から意見を吸い上げる工夫、努力が必要であると思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1	7	4	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	1	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	4	2	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	5	3	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
運営推進会議へは交代で全職員が参加する体制をとっており、現状や課題等について地域の方と一緒に意見交換をすることができている。
頻度としては少ないが事業所発信で、AED講習の開催や介護相談を行っていることを、チラシの毎戸配布や地域の回覧板、運営推進会議の場で提案及びPRしている。
必要な事項に関しては、会議の事前に意見をもらい反映させている。
地域及び利用者家族からの苦情や意見は速やかに話し合いの場を設け、対策を検討し解決に努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
頻度としては少ないが地域への発信を行い働きかけてはいるが、結果に結びついていない。
事業所のあり方について、まだまだ気軽に意見できる環境や配慮が足りていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
全職員が事業所のあり方等について考え、積極的に意見が言える体制、環境を整備し、地域に必要な存在になれるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2017年 6月26日(16:30~17:00)
2017年 8月20日(14:00~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 種市副主任、前田郁、丸谷、米澤、小堀、木田、稲葉
管理者、笹副主任、佐藤、前田、西谷、工藤、櫻庭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	1人	13人

前回の改善計画
全体の質の向上に向け、職員個々の意識と自己研鑽に向けた取組みを積極的に行うようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
スキルアップのための外部研修については、業務の都合もあり、限られた職員のみでの参加になってしまったように思われる。今後外部研修への参加の機会を増やし、内部へ還元することで更なる職員の質の向上に取り組みたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	10	2		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	6	4	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	5	2	5	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		11	2		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ウツカリやヒヤリハット、事故が発生した際には、その都度対策を講じると共に、定期的にはリスクについての検討や園内研修を行っている。外部研修への参加や、資格取得を含めたスキルアップに取り組む職員もいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域で開催される様々な会議や研修会への参加については、積極的な職員とそうでない職員に分かれているところがある。
リスクマネジメントには全職員で取り組んではいるが、これも職員により温度差があうように思われる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
リスクマネジメント研修を定期的に行うことで全職員がリスクに対する意識を高め事故防止につなげると共に、外部研修へ積極的に参加し、内部へ還元することで全職員の更なる質の向上に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2017年 6月26日(16:30~17:00)
2017年 8月20日(14:00~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 種市副主任、前田郁、丸谷、米澤、小堀、木田、稲葉
管理者、笹副主任、佐藤、前田、西谷、工藤、櫻庭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	3	人	13人

前回の改善計画	プライバシーに配慮した対応についての意識統一を図ると共に、成年後見制度について理解を深めるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	プライバシーに配慮した対応を実施しているが、個人差があり意識の統一までには至っていない。成年後見制度については対象者がいないこともあるが、理解を深める機会の確保に努めたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	1		1	13
②	虐待は行われていない	11	1		1	13
③	プライバシーが守られている	5	5	3		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2	2	9	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束、虐待の事実はない。 個人情報に関する書類等の管理については鍵付きのキャビネットにて保管している。 利用者への対応を自分への対応と置き換え、自分がされて嫌な対応を行わないよう、利用者の立場で物事を考えるように努めている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること プライバシーに関して配慮に欠ける言動が時折みられていた。 成年後見制度については、利用している利用者がないこともあり理解と学びに乏しい状況である。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) プライバシーに配慮した対応について徹底した意識統一を図ると共に、成年後見制度について内外研修の実施、参加を含め理解を深められるように努める。
---------------	--